

担当教員 宇田川 妙子				
開始時期 後期	開講期間 半期	科目番号 20DRSc02	授業形態 演習	単位 2
キーワード ジェンダー、セクシュアリティ、ヨーロッパ		対象学年 1年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 ヨーロッパ文化研究特論				
科目名称：英語 Proseminar (European Studies)				
科目の概要：日本語 南ヨーロッパのジェンダー・セクシュアリティ				
科目の概要：英語 Gender and Sexuality in Southern Europe				
科目の目的： ジェンダーおよびセクシュアリティについての知識・視座は、現在の人類学では必須のイシューである。その基本的な知識や考え方を、ヨーロッパを事例に習得し、学生各自が自らの人類学的な研究にも応用することによってより豊かな文化理解につながることを目的とする。				
学習成果・習得する技能や知識： ジェンダーやセクシュアリティに関する基本的な知識を身につけ、それを自分の研究対象地についても応用できるようになることを目的とする。				
成績評価方法・基準： 授業への参加貢献度（50%）、レポート（50%）				
授業内容： 最初（1～3回）：ジェンダー・セクシュアリティにかんする一般的な知識の習得を行う。 4～7回：南ヨーロッパの古典的かつ基本的な文献である『シエラの人々』を購読し、そこにみられるジェンダー・セクシュアリティの問題について検討する。 8～11回：他の近年の民族誌を参照しながら、性の問題を掘り下げ、論点をさらに明確化していく。その際、近代的な性概念の形成・流通という問題についても、歴史学的な文献をとおして学ぶ。 12～15回：再び、ジェンダー・セクシュアリティの一般的な議論に戻り、各自のフィールド地にジェンダー・セクシュアリティの視点を応用しながらディスカッションをする。				
日程： 木曜日 3限（13:30～15:00）				
実施場所：日本語 民博4階演習室				

<p>使用言語： 日本語</p>
<p>その他使用言語： なし</p>
<p>準備学習： 指定した文献がある場合には、それを事前に読んでおくこと。</p>
<p>関連科目・履修条件： とくになし</p>
<p>教科書・必読書： ピット＝リヴァーズ著『シエラの人々』（弘文堂）。 他は、必要に応じてプリント等を配布する。</p>
<p>参考書・その他の教材： 宇田川妙子・中谷文美編『ジェンダー人類学を読む』世界思想社</p>
<p>備考：日本語 地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可</p>